

遠赤外線石油ストーブ【ほむらさん】 取扱説明書



目次

- ・メーカー取扱説明書
- ・返却時の梱包方法

ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店

笑顔のボタンタッチ
上州物産株式会社

〒379-2166

群馬県前橋市野中町369-2

TEL：027-289-6080

FAX：027-289-6166

緊急連絡先：080-5643-7181

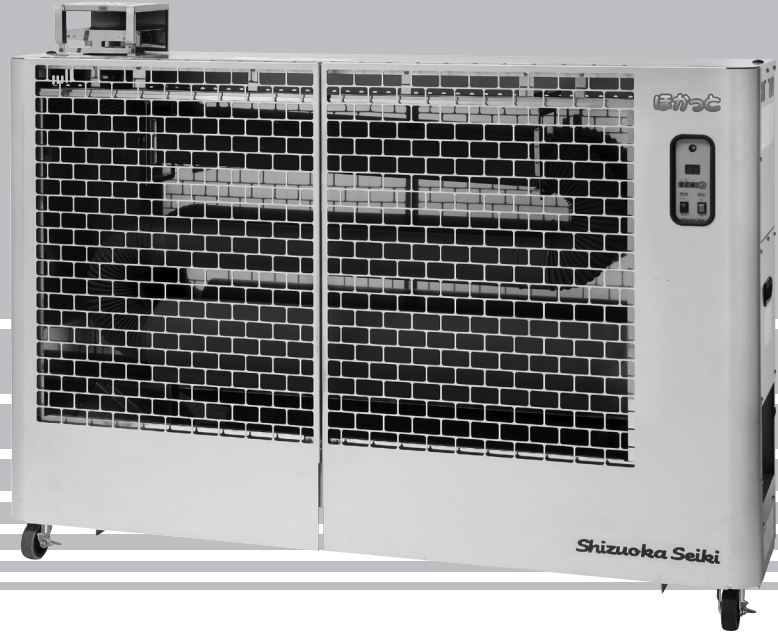
ストーブヒーター暖房器具レンタル専門店ホームページへアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



業務用油だき可搬形ヒータ放射式直火形

ほかつと SE200 / SE150

取扱説明書



- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、ヒータを正しくお使いください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。



もくじ

まえがき	2	5. 点検方法	13
1. 特に注意していただきたいこと	4	5-1. 日常点検と手入れ	13
2. 各部のなまえ	7	5-2. 定期点検	14
3. 初めてお使いになる場合の準備	9	6. 保管方法	14
4. 使用方法	10	7. 故障・異常時の処置方法	15
4-1. 運転準備	10	8. 仕様	16
4-2. 運転操作方法	11	9. 安全ラベル一覧	17
4-3. タイマー設定方法	12	10. アフターサービス	17
4-4. タイマー時間固定方法	12	11. 別売部品について	18

巻末: 保証書・営業所連絡先

この度はスズオカの ほかっと をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

まえがき

◎ この取扱説明書には、このヒータを安全に、正しくお使いいただくため、必ずお守りいただきたい注意事項が表示されています。

その注意事項は **⚠危険**、**⚠警告**、**⚠注意** に区分されています。

表示内容をよくご理解いただき本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を表示しています。



警告

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が死亡、重傷を負う危険、又は火災の可能性が想定される内容を表示しています。



注意

この表示を無視して、誤った「取扱い」をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ 「⚠注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◎ 文章の横にあるマークは次のように表しています。

	禁止 (このマークは、禁止の行為であることを表します。)
	強制 (このマークは、行為を強制したり指示したりする内容を表します。)
	注意 (このマークは、注意を促す内容があることを表します。)



重要なお知らせ



警告

-
- このヒータは家庭用として使わないでください。火力が強いため、密閉した場所で使用すると火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
 - このヒータの操作および点検・手入れを行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
 - 部品を交換される場合には、必ず静岡製機（株）の純正部品をお使いください。純正部品以外のものを使用したことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - この取扱説明書に従わなかったり、誤用や改造が行われたことにより発生した損害・事故につきましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



注意

-
- 本製品は「裸火」に該当します。不特定多数の人が出入りする場所で使用するときは、消防署の許可を取ってお使いください。
 - ・ 百貨店の売り場、顧客の出入りする場所
 - ・ 劇場、公会堂、集会場の舞台、客席（上記以外は使用地域の消防署にお問い合わせください）
-
1. 近年、産業機械には、新しい加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。このヒータの取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。そのため、この取扱説明書の記載事項やヒータに表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。従って、ヒータの操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載およびヒータ本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
 2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店（以下販売店という）または、最寄りの弊社営業所（巻末に記載）にお問い合わせください。
 3. この取扱説明書において、万一、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、販売店までご連絡ください。
 4. この取扱説明書は、大切に保管してください。



この取扱説明書の目的と構成について

.....





この取扱説明書の目的は、業務用油だき可搬形ヒータ ほかっと SE200/150 について、ヒータの正しい操作および点検・手入れの方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。







.....

1 特に注意していただきたいこと

安全のため、必ずお守りください。












* 下記の項目は、このヒータをお使いいただく上での重要な安全事項が書かれています。ご使用前に必ずお読みください。

 危険			
1	ガソリン厳禁	ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	
2	可燃性ガスの発生する場所での使用厳禁	可燃性のガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPGなど）を使っている場所や置いてある場所では、ヒータを絶対に使用しないでください。引火して爆発し、火災、やけどをするおそれがあります。	
3	換気必要	換気を十分に行えない場所では使用しないでください。換気せずに使用し続けしないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。使用中は必ず換気をして新鮮な空気を補給してください。	

 警告			
1	スプレー缶厳禁	スプレー缶など密閉容器を加熱したり、熱の当たるところに置かないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発し、ケガをすることがあります。	
2	可燃性粉じん厳禁	可燃性粉じん（木くず、紙くず、繊維くずなど）が発生する場所では使用しないでください。ヒータ内に吸い込まれると加熱され火の粉になって吹き出されるので火災の原因になります。	
3	高温部に注意	燃焼中や、消火後約30分間は放熱部、及び放熱部周辺に手など触れないように注意してください。やけどします。	
4	改造使用の禁止	改造して使用しないでください。故障・火災等の原因になり危険です。	
5	感電注意	感電するおそれがあります。雨水、雪などのかかる場所や湿度の高い所では使用しないでください。日常の点検、手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。	

安全のため、必ずお守りください。

注意

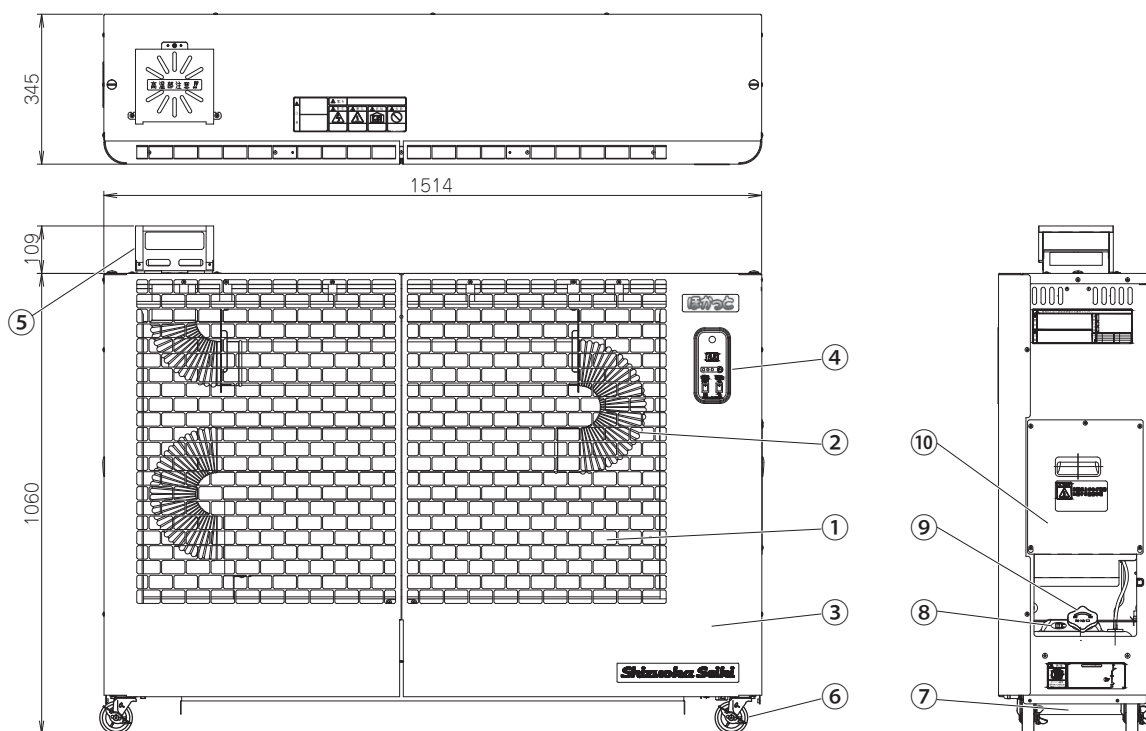
1	可燃物からの距離確保	可燃物は放熱部の前方及び上方から1.5m以上、左右側方から1m以上離してください。火災の原因になります。	
2	遮へい物不可	放熱部前方1m以内には、遮へい物を置かないでください。異常燃焼や火災の原因になります。	
3	点火操作の繰り返し禁止	点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。	
4	標高の高いところでの使用禁止	標高1000m以上の場所で使用する場合は、調整が必要です。調整は販売店に相談してください。そのまま使用すると、異常燃焼や火災の原因になります。	
5	ガード接触注意	ガードに手をかけないでください。ケガをすることがあります。移動するときは、片手で左側面または右側面の取っ手を掴み、もう一方の手を天板に添えてください。	
6	異常時使用禁止	におい、煙の発生など異常燃焼を起こしたときは、直ちに使用を中止し、販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。	
7	燃焼中移動禁止	ヒータを火の付いたままで移動しないでください。やけどのおそれがあります。また、転倒すると火災の原因になります。	
8	消火時の注意	電源プラグをコンセントから抜くときは、運転ランプが消灯したことを確認してください。	
9	給油時消火	給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。	
10	電圧注意	電源は、単相交流100V (90~110V以内) で使用してください。火災・感電・故障の原因になります。	
11	アースコード未接続での使用禁止	アースコードを接続してください。接続しないで使用すると感電のおそれがあります。	
12	電源プラグ引き抜き注意	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って行ってください。電源プラグが損傷し、感電やショートして発火することがあります。	
13	床面高温注意	ヒータを使用するときは、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。	

安全のため、必ずお守りください。

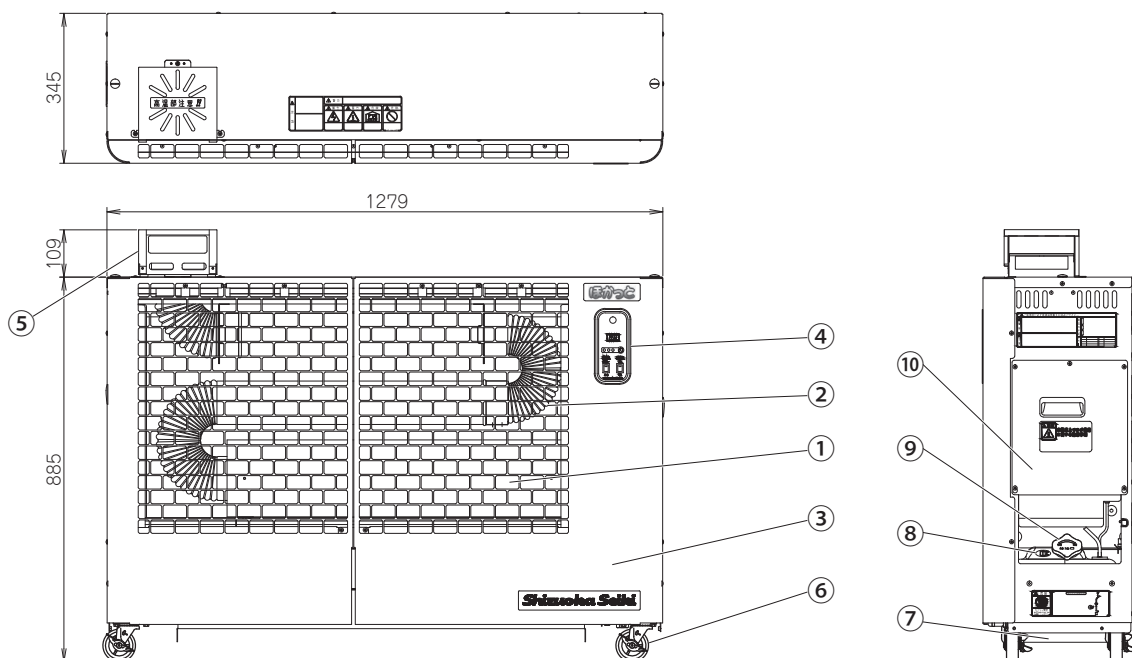
 注意			
14	電源コード 破損注意	電源コードは、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工しないでください。また、重いものを載せるなど破損の原因となることは避けてください。火災・感電の原因になります。	
15	消火の確認	消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。	
16	使用時の周囲温度 に注意	ヒータを使用するときは、 -20°C ～ 30°C の周囲温度でお使いください。特に、周囲温度が 30°C 以上になりますとヒータが過熱され、火災の原因になります。	
17	ヒータ使用場所の 制限（次の所では 使用しない）	<p>災害・傷害等を未然に防止するために、次のような場所では使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用床面が振動する場所。 ● 使用床面が傾斜している場所（水平でない場所） ● 階段、非常口（避難口）、部屋の出入口等。 ● 周囲に不安定な積荷のある場所。 ● 風の強い場所や、湿気が多い場所、ほこり・金属粉の浮遊している場所。 ● その他、人の移動に障害となる場所等。 	
18	軍手着用	本体を掃除するときは、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。	
19	保管、廃棄する時の 油抜き	長期間使用しないとき、または保管、廃棄するときには、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。	
20	廃棄時の不法投棄 禁止	ヒータを廃棄するときは、必ず専門業者に依頼してください。絶対に不法投棄はしないでください。	
21	譲渡時の「取説」 添付の励行	ヒータを譲渡するときは、「取扱説明書」を必ず添付してください。	
22	サーモスタット 感温部設置場所 注意	サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部は赤外線が直接当たる所に置かないでください。頻繁にON（燃焼）／OFF（消火）を繰り返す、故障の原因になります。	
23	無人運転時の注意	サーモスタット・タイマーを取り付けた場合、自動的に無人状態でも着火します。放熱部前方の可燃物や遮へい物など周囲に燃えやすい物がないか確認してください。火災の原因になります。	
24	別売部品取付時の 注意	別売部品を取り付けるときは、電源プラグを外して行ってください。工具などの金属部が電装部品に触れますと、感電、破損のおそれがあります。	

2 各部のなまえ

◆ SE200



◆ SE150



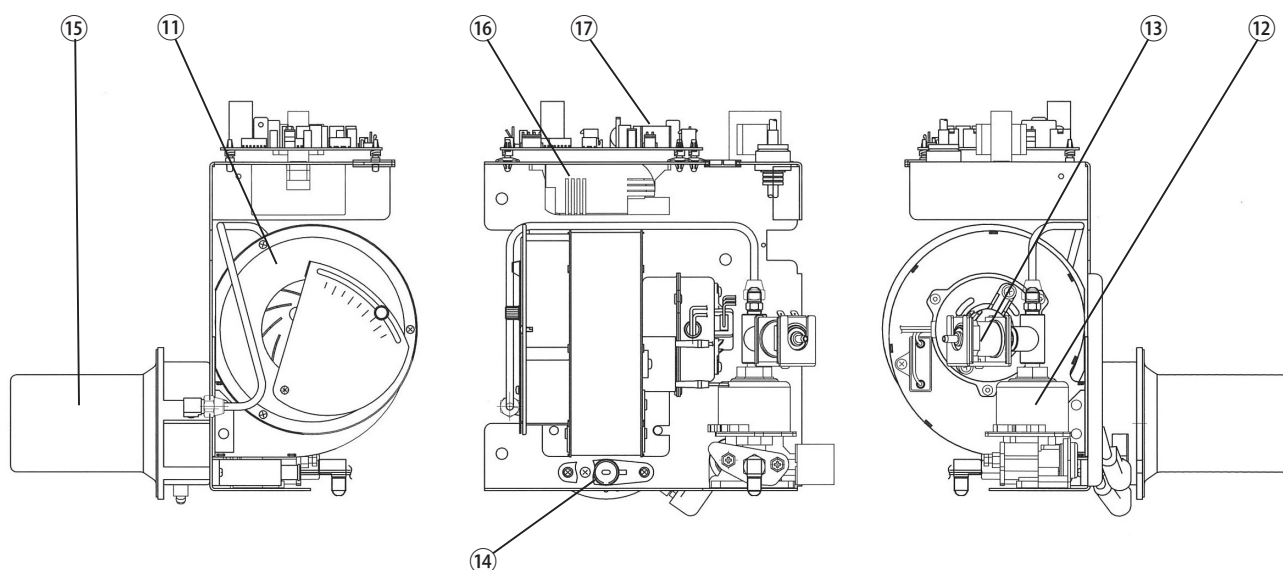
① 燃焼室
② 放射管
③ ガード

④ 操作部
⑤ 排気口
⑥ 車輪

⑦ 油タンク
⑧ 油量計
⑨ 給油口

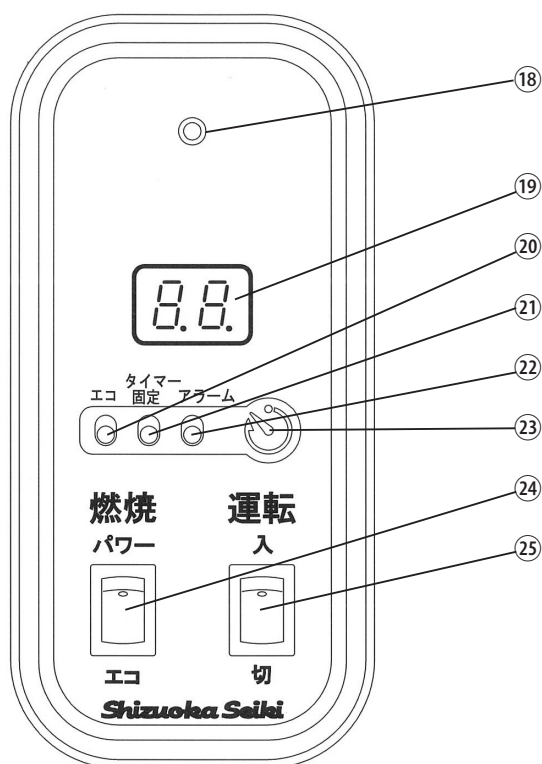
⑩ バーナカバー
(内部にバーナ部)

◆バーナ部 (SE200/150 共通)



- | | | |
|---------|------------|--------|
| ① 燃焼ファン | ⑭ フレームアイ | ⑰ 制御基板 |
| ⑫ ポンプ | ⑮ ドラフトチューブ | |
| ⑬ 電磁弁 | ⑯ 点火トランス | |

◆操作部 (SE200/150 共通)



- | |
|-------------|
| ⑱ 運転ランプ |
| ⑲ 表示部 |
| ⑳ エコランプ |
| ㉑ タイマー固定ランプ |
| ㉒ アラームランプ |
| ㉓ タイマーボタン |
| ㉔ 燃焼切替スイッチ |
| ㉕ 運転スイッチ |

3

初めてお使いになる場合の準備



注意

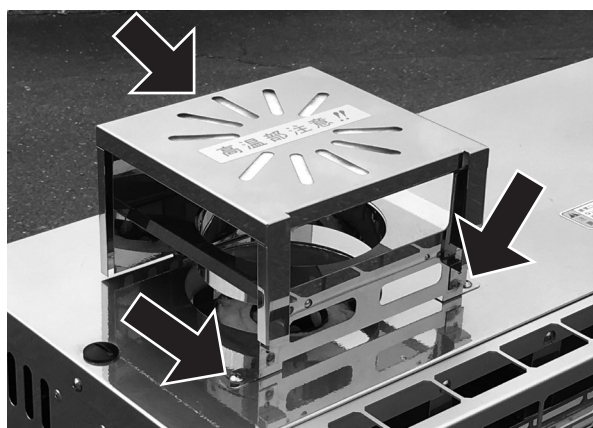
- ヒータの組み立て時、ネジ・ナット・ボルトは、適切な工具で確実に締めつけてください。締めつけが不完全ですと、部品が外れてケガをすることがあります。

お願い

- ヒータのネジを外したり、締めつけたりするときは、スパナや⊕ドライバなど、その時の作業に適切な工具を使用してください。合わない工具を使って作業すると、ネジや部品を破損することがあります。

排気口の組み立て

- 1 排気口は、別梱包になっていますので、梱包(2/2)から排気口を取り出してください。
- 2 天板に仮止めされているネジ3本を⊕ドライバで外してください。(このときネジをなくさないでください。)
- 3 天板の穴と排気口の穴を合わせてください。
- 4 ⊕ドライバを使って、先程外したネジで排気口を天板に確実に取り付けてください。



4 使用方法

4-1. 運転準備



危険

- ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



注意

- 給油は、必ず消火してから行ってください。火災の原因になります。
- 電源は、単相交流100V (90~110V) を使用してください。間違った電源を使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- アースコードを接続してください。接続していないまま使用すると感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って行ってください。電源コードは、無理に曲げたり、引っ張らないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

★給油

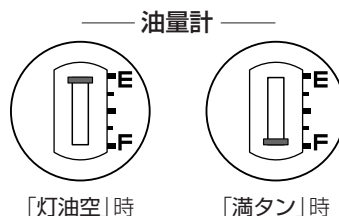
お願い

- 給油口ストレーナにゴミが付いていないか点検してください。ゴミが付いたら給油口ストレーナを取り出して、灯油で洗ってください。この時に使った灯油は、油タンク内にもどさないでください。故障の原因になります。
- 必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。変質灯油、不純灯油などは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 変質灯油・不純灯油を使用した事による故障につきましては、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 給油口ストレーナを外して給油しないでください。タンク内にゴミやほこりが入って異常燃焼や故障の原因になります。

1 給油口ふたを外して、給油ポンプを差し込んでください。

2 油量計を見ながら、灯油を給油してください。油量計の目盛が、「F」に近くなったら、給油を停止してください。

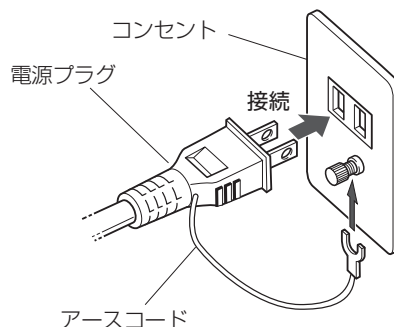
3 給油口ふたを、確実に締め、こぼれた灯油はウエスなどで拭き取ってください。



★電源の接続

1 運転スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに接続してください。
電源投入後、1秒間全ランプが点灯し、30秒間燃焼ファンが作動します。

2 アースコードを接続してください。



4-2. 運転操作方法



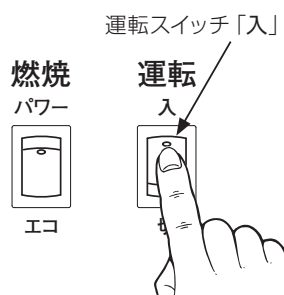
- におい、煙の発生など異常な燃焼を起こした時は、直ちに使用を中止し販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災の原因になります。
- 点火操作を3回繰り返しても着火しない場合は、それ以上点火操作ができなくなります。燃料切れ以外の場合には火災の原因になりますので、販売店に連絡してください。
- ヒーターを使用する時は、床面が高温にならないように注意してください。火災の原因になります。
- 油タンク内が汚れたまま運転をしないでください。着火不良や異常な燃焼を起こす原因になります。

★ 点火操作

お願い

- 着火の確認をするまで、離れないでください。火が付いていない可能性があります。

- 1 油量計で燃料が入っていることを確認してください。
- 2 運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯し、約 15 秒後に着火します。

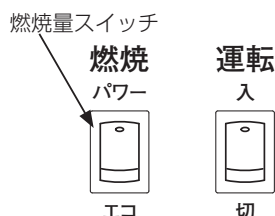


着火しなかった場合の再度の点火操作

一度、消火操作を行い、運転ランプが消灯した後に、点火操作を行ってください。

★ 燃焼量の調整

運転開始から約1分経過後、燃焼スイッチを「パワー」にすると強燃焼になり、「エコ」にすると弱燃焼に切り替わります。



★ 消火操作

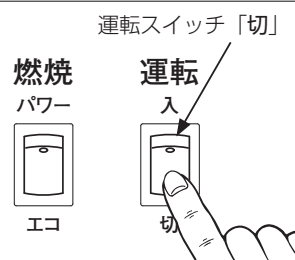


- 消火操作をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。

お願い

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、燃焼ファンが停止したことを確認してください。

運転スイッチを「切」にしてください。
燃焼が停止し、約5分後に燃焼ファンが自動的に停止し、運転ランプが消灯します。



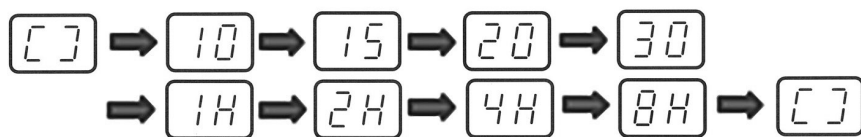
消火操作後の点火操作

冷却運転中に点火操作した場合は安全装置のチェックをするため、着火までに 20 秒程度かかることがあります。

4-3. タイマー設定方法

燃焼運転中にタイマー設定を行うことにより、設定時間経過後に運転を停止することができます。
(操作部の説明は P.8 をご参照ください。)

- 1 タイマーボタンを 1 度押すと表示部の数字が点灯表示から点滅表示になります。
- 2 表示部の数字が点滅表示している間に、タイマーボタンを押すと、タイマーボタンを押す毎に、下記のように表示内容が順次変化します。



*表示される内容は、タイマー時間を示し、10 は 10 分、15 は 15 分、20 は 20 分、30 は 30 分、1H は 1 時間、2H は 2 時間、4H は 4 時間、8H は 8 時間、[] は連続運転を意味します。

- 3 表示部にご希望の時間を点滅表示させ、その後、5 秒間、タイマーボタンを操作しないと表示部が点灯表示になり、タイマー運転を開始します。

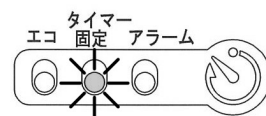
タイマー運転中、表示部はカウントダウン表示をし、「00」になったときに運転を停止します。

*連続運転にしたい場合は、表示部に [] を点滅表示させ、その後、5 秒間、タイマーボタンを操作しないと表示部が点灯表示となり、連続運転を開始します。

4-4. タイマー時間固定方法

燃焼運転中に下記の操作を行うことで、タイマー設定時間を固定することができ、コンセントを抜くか、タイマー時間固定を解除するかをしないと、4-3 のタイマー設定を行うことができなくなります。

- 1 タイマーボタンを 1 度押すと表示部の数字が点灯表示から点滅表示になります。
その状態でタイマーボタンを 5 秒以上長押しすると、タイマー固定ランプが点灯します。
タイマー固定ランプが点灯している間は、タイマー設定を行うことができなくなります。



タイマー時間固定時

- 2 タイマー時間固定中（タイマー固定ランプ点灯中）にタイマーボタンを 1 度押し、表示部の数字を点滅表示させた後、再度、タイマーボタンを 5 秒以上長押しすると、タイマー固定ランプが消灯し、タイマー時間の固定が解除されます。
タイマー固定ランプが消灯すると、タイマー設定を行うことができるようになります。



注意

- 点検・手入れをするときは、必ず消火し、電源プラグを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 本体を掃除する時は、軍手をはめて行ってください。手を切るおそれがあります。

お願い

- 給油口ストレーナの洗浄に使った灯油を油タンクに入れたり、油タンク内の点検時に取り出した汚れた灯油を油タンクに戻さないでください。故障の原因になります。

5-1. 日常の点検と手入れ

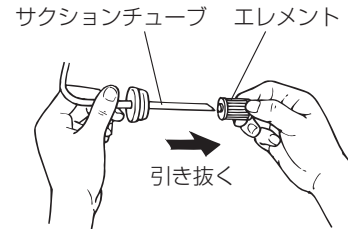
★ 給油口ストレーナ汚れ点検

- 1 給油口ふたを外し、給油口にはめられている給油口ストレーナにゴミがついていないか点検してください。
- 2 給油口ストレーナにゴミがついていたら、給油口ストレーナを取り出して灯油で洗ってください。
- 3 給油口ストレーナを給油口にはめ込み、給油口ふたを確実に締めてください。



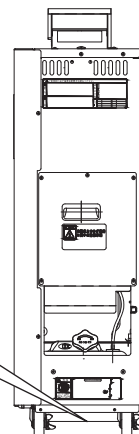
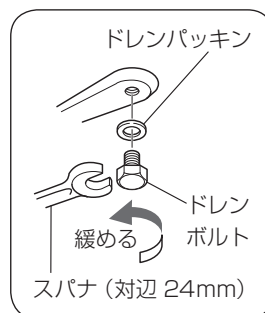
★ エレメントの点検・交換

- 1 写真のように⊖ドライバ等を使用し、サクシジョンチューブを油タンクから取り外してください。
- 2 エレメントが汚れている場合は、新品と交換してください。
- 3 サクシジョンチューブを油タンクに確実に取り付けてください。



★ 油タンクの水抜き

- 1 給油口ふたを外し、給油口ストレーナを外して、給油ポンプを差し込んでください。
- 2 給油ポンプが油を吸い込まなくなるまで、灯油を抜き取ってください。
- 3 給油口ストレーナをはめ、給油口ふたを確実に締めてください。
- 4 給油ポンプで取りきれなかった灯油または水の混じった灯油を排出しますので、約3L分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いてください。
- 5 次に、ドレンボルトをスパナなどで外し、油タンクをドレン側に傾けて、完全に排出してください。(この時、ドレンパッキンをなくさないように注意してください。)
- 6 ドレンボルトにドレンパッキンを入れ、パッキンが密着し、油漏れがないように確実に締めてください。
- 7 油タンクに付いた灯油や水は、ウエスなどで拭き取ってください。



★フレームアイの点検・掃除

お願い

- フレームアイを引き出すときは、フレームアイ本体を持って行ってください。

- 1 バーナカバーを外し、フレームアイを引き出して受光面の汚れを点検してください。
- 2 受光面が汚れている場合は、柔らかい布等で、透明になるまで拭いてください。
- 3 フレームアイをはめ込み、バーナカバーをネジで確実に取り付けてください。



フレームアイ



★感震器の作動点検

- 1 燃焼しているヒータの左側面また右側面の取っ手を持ち、上下または左右に揺すってください。
- 2 感震器が作動して、自動的に消火するか確認してください。
- 3 作動しない場合は、消火後、販売店に連絡してください。

★本体の汚れ点検

- 1 ヒータ本体周りにゴミやほこりがたまっていないか、点検してください。
- 2 ほこりがたまっている場合は、掃除機で吸い取るか、ウエスなどで拭き取ってください。

5-2. 定期点検

長時間で使用になりますと、機器の点検が必要です。

2シーズンに1回程度、シーズン終了後などにお買い求めの販売店、またはサービス店に点検依頼してください。

6 保管方法



注意

- 保管する時、または長期間使用しない時、必ず油タンクを空にしてください。油が漏れて火災の原因になります。

保管される場合には、電源プラグをコンセントから抜き、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。

★ 修理サービスを依頼される前に、下記の点検をお願いします。

下記の項目以外、または処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社営業所（巻末参照）へお知らせください。その際に、症状の他、ヒータの型式名、製造番号をお知らせください。製造番号は、本体背面に貼付してある「仕様ラベル」に記してあります。

症 状	考えられる原因	処 置 方 法
全く動かない（表示も出ない）	電源が入っていない・停電している	電源を入れる
全く動かない（表示は出る）	安全装置が作動している	安全装置を確認してください（下記表参照）
	サーモ・タイマー動作中である	サーモ・タイマーを確認してください
着火しない	油タンクに灯油がない	給油してください（P.10参照）
	油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをして、きれいな灯油を入れてください（P.13参照）
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください（P.13参照）
途中失火する	安全装置が作動している	安全装置を確認してください（下記表参照）
	燃料が不良である	油タンクを掃除して、きれいな灯油を入れてください（P.13参照）
	フレームアイが汚れている	フレームアイを掃除してください（P.14参照）
	エレメントが詰まっている	エレメントの点検と交換をしてください（P.13参照）

次のような現象のときは異常ではありません。修理サービスをお申しつけになる前に、もう一度確認してください。

現 象	説 明
初めての使用のとき、煙やにおいが出る。	ほこりや油分などが焼けるためです。しばらくするとなくなります。
点火時、および消化時に「ピチピチ」と音がする。	バーナ部や放射管の熱膨張が原因で発生する音です。異常ではありません。
初めての使用のとき、電磁ポンプから振動や異音がする。	電磁ポンプ内に空気が混入しているためです。しばらくすると空気が抜けて、振動や異音がなくなります。

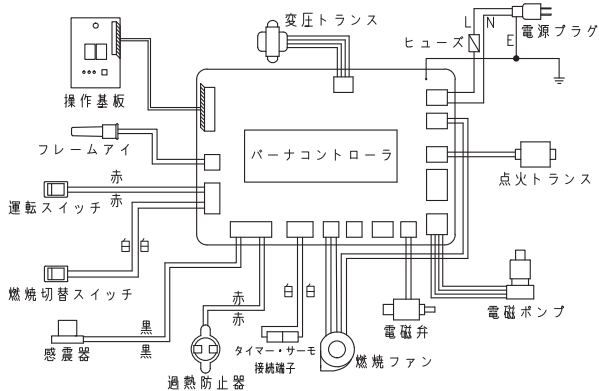
★ エラーコードと処置方法

ヒータの異常発生時には、アラームランプが点灯し、表示部にエラーコードを表示します。エラーコードの内容は、下記表の通りです。

表示内容	エラー内容	エラー内容の説明と処置方法
A1	失火	点火ミスや燃焼中に失火したときに自動的に消火します。上記処置方法に従って異常原因を取り除き、電源を再投入してください。処置後も異常が繰り返し発生する場合は、販売店に連絡してください。
A3	過熱	ヒータが異常に過熱したときに自動的に消火します。バーナ部の異常が考えられます。販売店に連絡してください。
A4	対震	運転中に振動や衝撃を受けたときに自動的に消火します。振動や衝撃による本体の損傷が無いかを確認し、周囲の安全を確認し、電源を再投入してください。
A5	ファン回転異常	運転中に燃焼ファンの動作に異常が生じたときに自動的に消火します。ヒータの異常が考えられ危険です。販売店に連絡してください。
A6	低電圧	運転中に電源電圧力が70Vを下回ったときに自動的に消火します。正常な電源に接続し、電源を再投入してください。
A7	3回連続着火ミス	3回連続で着火できなかったときに自動的に点火操作を禁止します。燃料切れの場合に限り、給油・電源を再投入後、点火操作をしてください。それ以外はヒータの異常が考えられ危険です。販売店に連絡してください。
HU	高電圧	電源投入時、145V以上だった場合に表示され、運転スイッチを「入」にしても動作しません。長時間、高電圧に接続した状態が継続すると制御部が故障する可能性があります。正常な電源に接続してください。
LU	低電圧注意	運転中に電源電圧が90V以下になった場合に表示します。運転は継続しますが、「LV」状態が継続する場合は電源電圧を確認し、正常な電源に接続してください。

8 仕様

配線図



◆SE200

形 式	SE200
種 類	放射式・直火形
点 火 方 式	高压放电点火
使 用 燃 料	灯油 (JIS 1号灯油)
燃 料 消 費 量	2.0 / 1.6 L/h [パワー/エコ]
熱 出 力	19 / 15 kW [パワー/エコ]
油 タンク 容 量	30 L
燃 焼 持 続 時 間	15 / 18.5 h [パワー/エコ]
外 形 寸 法 (mm)	高さ 1,169 × 幅 1,514 × 奥行 345
質 量 (タンク空時)	77 kg
電 源 電 圧	AC100 V [50 / 60 Hz]
消 費 電 力	点火時: 102 / 92 W [50 / 60 Hz] 燃焼時: 86 / 76 W [50 / 60 Hz]
ヒ ュ ー ズ	ガラス管ヒューズ 3 A 250 V (φ 6.35 × 30L)
運 転 音	57 / 56 dB (A) [パワー/エコ]
安 全 装 置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護・過熱防止・異常電圧検知・電圧低下検知・ファン回転異常検知・停電時安全・連続着火ミス検知

◆SE150

形 式	SE150
種 類	放射式・直火形
点 火 方 式	高压放电点火
使 用 燃 料	灯油 (JIS 1号灯油)
燃 料 消 費 量	1.7 / 1.3 L/h [パワー/エコ]
熱 出 力	16 / 12 kW [パワー/エコ]
油 タンク 容 量	30 L
燃 焼 持 続 時 間	17.5 / 23 h [パワー/エコ]
外 形 寸 法 (mm)	高さ 994 × 幅 1,279 × 奥行 345
質 量 (タンク空時)	65 kg
電 源 電 圧	AC100 V [50 / 60 Hz]
消 費 電 力	点火時: 83 / 74 W [50 / 60 Hz] 燃焼時: 61 / 53 W [50 / 60 Hz]
ヒ ュ ー ズ	ガラス管ヒューズ 3 A 250 V (φ 6.35 × 30L)
運 転 音	57 / 56 dB (A) [パワー/エコ]
安 全 装 置	対震自動消火・炎監視・過負荷保護・過熱防止・異常電圧検知・電圧低下検知・ファン回転異常検知・停電時安全・連続着火ミス検知

9 安全ラベルの一覧

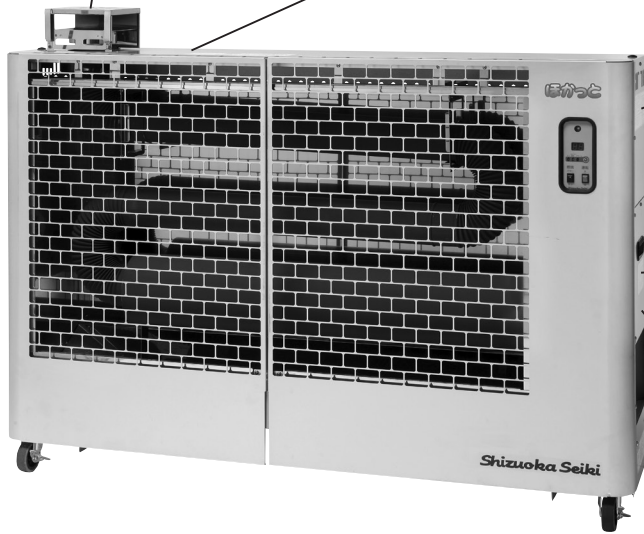
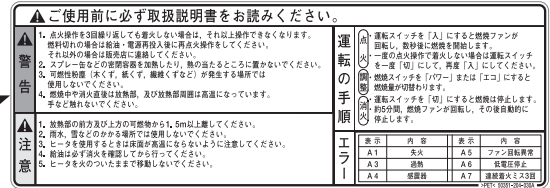
高温部注意ラベル



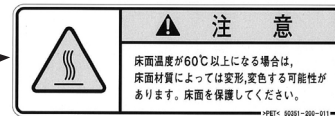
危険表示ラベル



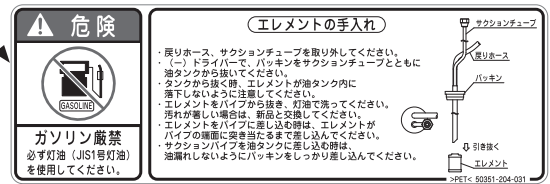
取扱注意ラベル



床面温度注意ラベル



給油注意ラベル



10 アフターサービス

- この製品には、1年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、保証書を添えてください。
- 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (1) 使用摩耗や経年変化により発生する現象
例) ノズル、エレメントなどの消耗、劣化
 - (2) 誤使用による故障
例) 電源 200V 使用による電気部品の焼損
 - (3) 弊社規格内の製品の性能等が、一般的に認められる範囲である場合
例) 運転音、燃料消費量など
 - (4) 腐食性ガスの発生する場所で使用した場合の部品腐食
例) 畜舎などアンモニアガス等の発生する場所

- (5) 弊社製品を使用できなかったことによる機会損失等
- (6) 弊社製品を使用した結果、製品の欠陥以外の原因で生じた事故、損失等
- (7) その他、取扱説明書に記載してある以外の使い方による故障

- 無償修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。

- (1) この期間は経済産業省の指導によるものです。
- (2) 性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

11 別売部品について

SE200、SE150に取り付けることのできる別売部品は次のものです。

名 前	使 い 方		
サーモスタット	部屋などの空間を暖めて、設定温度に保ちたいときに使用します。 設定温度範囲によって、A・B・Cの3種類があります。		
	A −10～60℃ 	B 0～100℃ 	C 40～90℃ 
タイマー 24 時間	時間によって運転を行ったり、止めたりするときに使用します。24 時間タイマーで 15 分刻みの設定ができます。		
SE タイマー	30 分の範囲の中で燃焼時間をコントロールする時に使用します。 (10、15、20、30 分のタイマー機能は本体に内蔵しています。)		
オイルタンク (95L)	別置きでタンクを取り付けることができます。 専用タンクでは、容量が足りないときに使います。 ※ オイルレベラが必要になります。		
収納カバー	ヒータを保管するときにほこりなどを防ぐために使用します。サイズの違いにより SE200 用、SE150 用の 2 種類があります。		

サーモスタット・タイマーの取付方法

* 油タンクの取付方法は専用の説明書をお読みください。

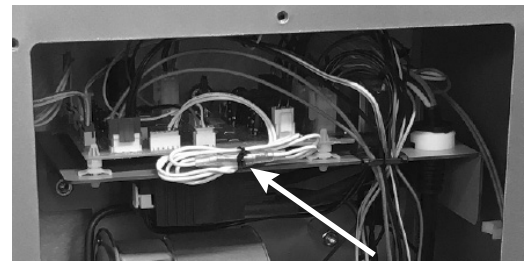
◆ サーモスタット取付

サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの設定温度以下になりますと、突然火が付きますので注意してください。サーモスタットの温度感知装置は、赤外線が直接当たるところには、設置しないでください。正常な温度制御ができません。

1. 電源プラグを抜いてください。
2. 左側面のバーナカバーを外して、基板付近に束ねてあるサーモ接続と書いたテープが巻いてある白いコードのビニタイを外してください。そのコードの端子を外して、右写真のように、エッジホルダに通して外部に出してください。
3. 外したコードのオス・メス各コネクタにサーモスタットコードのコネクタを接続してください。

左側面

(バーナカバーを外した内部の基板付近)



サーモ接続コード
(基板付近に束ねてある状態)

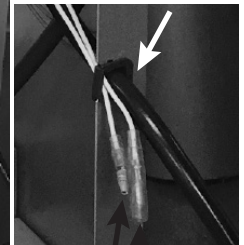
左側面

(バーナカバーを外した写真)

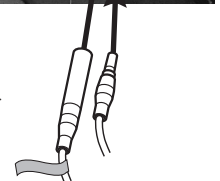


サーモ接続コード
(ビニタイをほどき、エッジホルダに通した状態)

エッジホルダ



サーモスタット
または
タイマーへ



◆ タイマー取付

タイマーを取り付けた場合、タイマーの設定時間になると、突然火がつきますので注意してください。

1. サーモスタットの取付と同じように、白いコードのコネクタにタイマーコードを接続してください。
2. サーモスタットとタイマーを2つ同時にお使いになる場合は、白いコードとサーモスタットコード、タイマーコードが直列になるように接続してください。

サーモスタット・タイマーの運転方法

運転スイッチ「入/切」を押して運転します。

①サーモスタットの場合

周囲温度がサーモスタットの設定温度になると運転が停止し待機状態になり、下がると運転を再開します。

②タイマーの場合

タイマーの設定にしたがい運転と停止(待機)を自動的に行います。

遠赤外線石油ストーブ【ほむらさん】

返却時梱包方法

※ストーブが完全に冷めたことを確認してから、梱包を行ってください。

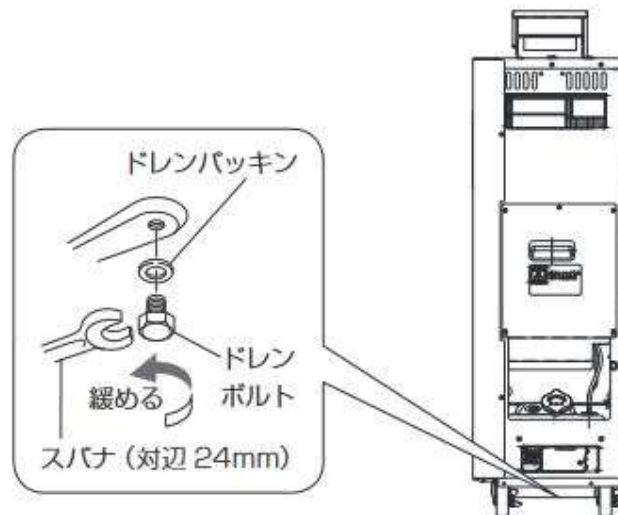
①

- 本体側面の給油口ふたを外し、給油口ストレーナを外して給油ポンプを差し込み、給油ポンプが吸い込まなくなるまで灯油を抜き取ってください。

※給油ポンプは返却不要です。
お客様にて処分してください。

②

- 給油ポンプで取り切れなかった灯油または水の混じった灯油を排出します。約 3L 分の空容器を用意し、ドレンボルトの下に置いて下さい。(空き容器はお客様がご用意をお願いします。)



- ドレンボルトを付属のスパナで外し、油タンクをドレン側に預けて完全に排出してください。(この時ドレンパッキンをなくさないように注意してください。)
- ドレンボルトにドレンパッキンを入れパッキンが密着し、油漏れが無いように確実に締めてください。
- 油タンクに付いた灯油や水はウエスなどで拭き取ってください。

③		<ul style="list-style-type: none"> • 本体背面にあるフックにコードと取扱説明書とスパナが入ったケースを掛けてください。
④		<ul style="list-style-type: none"> • 箱をかぶせます。 箱の上面に煙突側と記載されています。 向きを合わせて箱をかぶせてください。
⑤		<ul style="list-style-type: none"> • 完成です。
<p>▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。 返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。 梱包の箱に貼り付けてあります。</p>		<div data-bbox="264 1733 956 1957" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>お届け時の伝票の下にある赤い伝票が返却用の伝票です。</p> </div> <div data-bbox="970 1727 1406 1966" data-label="Image">  </div>